

## 普及活動情勢報告（平成30年12月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

### 「人・農地プラン」地域での話し合い開催



春野地域での話し合い

高知市の人・農地プランは、28地区で作成されています。10月から11月にかけて、そのうちの16地区で座談会を開催しました。

参加者の確保と、話し合いやすい内容とするため、普及所からは、身近な課題である集落営農、基盤整備等について、会議内容に盛り込むこととしました。

参加者の反応は、特に、基盤整備について詳細に説明したこともあり、「負担が少ないので、もっと多くの人に聞いてもらいたい」といった前向きな意見も出されました。

今後も、普及所は、参加・議論しやすい内容を提案し、関係機関で検討していき、人農地プランの作成を支援します。

### 春野に、県外から就農希望者が来てくれました。



産地の支援体制を説明中

12月8日、高知市春野町でこうちアグリ体験合宿が開催され、県内外11名の方が、きゅうり部会の就農支援体制や、就農3年目の方の就農体験談を聞きに来られました。

普及所からは、本気で農業を志す方であれば、就農支援チーム会や部会が、全面バックアップする支援体制や農業で成功するコツを紹介しました。

参加者からの様々な質問の中では、就農に対する不安の声があり、多くの方が農業には興味があっても、資金面で不安を感じていることが分かりました。

本合宿では、この機会を通じて、地域の支援策や助けてくれる人達がいることを知ってもらうことができ、今後も、新規就農者募集活動を継続することで、地域の維持発展に取り組んでいきます。

### ウメの整枝・せん定技術の向上



ウメのせん定

12月12日高知市鏡で、JA高知市鏡支所果樹部会のウメせん定講習会が開かれ、部会員、営農指導員ら25名が参加しました。普及所は、「この枝は切る。この枝は残し結果枝にして、果実を収穫する。」などウメの整枝・せん定の見本を見せながら説明しました。また、今後の栽培ポイントや果樹の有望品種とその品種特性などを紹介しました。参加した部会員らは、各々で1樹のせん定を実践し、仕上げるとともに、日頃の栽培への疑問点などの意見交換をしました。

普及所では、今後とも関連機関と連携し、果樹の栽培技術の向上を目指していきます。

## 消費環境の変化に対応した米づくりを！～JA高知市稲作部年末研修会～



米の消費の変化に驚き

12月7日、ドリーマーベイシャトーにて、JA高知市稲作部年末研修会を開催し、31名が参加しました。普及所からは、30年産早期水稲の生育概況とよさ恋美人、多収性品種の試験結果を報告しました。

また、株式会社名古屋食糧の長尾氏から「早期米の販売状況と消費環境の変化」についてご講演頂きました。よさ恋美人の評価は良好で、2年目が肝心であることや、消費の変化に生産現場が対応していくことの重要性が共有されました。

参加者からは、よさ恋美人の価格に対する要望の声が聞かれています。

普及所では、今後も需要に応じた米産地づくりを支援していきます。

## 知って！買って！食べられる！土佐野菜マルシェin高知大丸の開催



「今年も買いに来た」というお客さんも。

12月9日、高知大丸屋上にて、高知の伝統野菜を販売する土佐野菜マルシェを開催しました。マルシェでは、Team Makinoによる牧野野菜の販売や、伝統野菜を使った料理の販売、潮江東小学校や初月小学校の生徒による研究発表も行われました。普及所では、マルシェの開催や運営を支援しました。

訪れた消費者から「これはどんな野菜？」「どんな食べ方が良い？」等を質問され、生産者は野菜の特徴を丁寧に説明していました。

普及所では、今後も高知の伝統野菜の生産や普及に向けた活動を支援していきます。